



Series MT-4000
Minamiaso Railway

外装デザイン



CONCEPT：前面から側面へ繋がる青ライン

熊本県中北部を流れる一級河川『白川』は、阿蘇五岳の南側・南郷谷を南阿蘇鉄道線に沿って流れる。沿線には名水百選に選定された白川水源をはじめ数多くの湧水地が点在し、水の生まれる里である。車体に大きく繋がる青は清らかな水を象徴としたデザインとした。

CONCEPT：流麗な二色の緑ライン

世界有数の巨大カルデラの中を走る列車の車窓からは、東西に連なる中央火口丘群を臨む。多量の雨によって少しずつ山肌が削られ深い谷を形成したその姿は、光と影のコントラストを描く。2本の緑線は阿蘇五岳の山並みをイメージした。



Since 1986
Reconstructed in 2023

Minamiaso Railway

MT-4001 MT-4003

MT-4002 MT-4004

CONCEPT : シンプルを追求

角張った車両形状と対象的に、やわらかさ・穏やかさを表現するためゴシック調のフォントを採用した。

車体側面と車体前面中央に配置する「n」のロゴは、南阿蘇鉄道の愛称『南鉄』でもあり、阿蘇五岳とそれを囲う外輪山をも想起させる。10個の小さな楕円は、立野から高森までの10駅が繋がったことを数珠繋ぎで表現した。

側面青ライン上に書いた「Reconstructed in 2023」は、熊本地震からの『復興』を意味する。

内装デザイン



CONCEPT：車窓から見える雄大な風景との調和

ロングシートの中は、着席時、視線正面に阿蘇の雄大な風景を臨む。

座席や床敷材は明度が低いものを採用することで、外の景色をより一層引き立たせる。

側壁や天井は明るい木目調を取り入れ、客室全体に開放感をもたらし、シンプルな調和にした。

設 備

バリアフリー対応化

車内に車椅子スペースを1箇所設け、格納式のシートベルトを側壁に設置。乗降もスムーズに行えるよう、車内にもスロープを常備している。乗降ドア開閉時は予告灯の点滅とともに、ドアチャイムが鳴動。開扉時は、視覚障害者用にも分かり易いよう、約5秒間隔でバリアフリー音が鳴る。

保安設備の強化

- ・ 南阿蘇鉄道の運転保安装置はATS-SN型であるが、JR線直通乗入れを考慮して、最新の運転保安装置ATS-DK型を装備。
車上装置に線路データを記憶させ、走行位置と走行速度をコンピュータで常に監視し、速度が過大の際は自動的にブレーキが掛かるシステムである。
- ・ 専用周波数を使用し無線機から警告音を発し、周囲の列車に異常を知らせる防護無線機と、車両上部に5分間燃焼する発炎筒を新たに搭載。これにより、周囲の列車・係員に異常を知らせ、事故が発生した際の二次災害を未然に防ぐ。

旅客利便性の向上

- ・ 夏季の冷房使用時や冬期の暖房使用時に車内の空調効率をより高められるよう、旅客が必要に応じてドアを開閉できる半自動システムを導入。
ドアの自動・半自動は、運転席のスイッチにより切り換わる。
- ・ 車両前面に貫通扉を取り付け、2両以上連結した際、車両間を行き来することが可能となる。
- ・ 行先表示器に高照度フルカラーLEDを採用し、必要な情報を交互に表示。また目的地により表示させる色を変更することで視認性を向上した。
- ・ GPSと連動した最新のデジタル運転制御システムを導入。停車駅・運転距離により、車内放送、行先表示等を完全自動で作動することを可能とした。

ブレーキ機能の向上

従来車に採用した自動空気ブレーキより応答性・整備性に優れた、「電気指令式空気ブレーキ」を採用した。いっさいのブレーキ制御を電気信号にて行う。また、複数のブレーキ回路を保有し、万が一メインのブレーキに不具合が生じても安全に車両を停止することができる。

